

令和5年度 八雲小学校 学校経営方針

令和5年5月24日

校長 田中宜夫

1 今年度の学校教育目標

やくも意宇学園目標：夢と希望をもって ともに高め合う 八雲っ子の育成（仮）

めざす子ども像：共に生きる子 学び続ける子 たくましく伸びゆく子（仮）

<学校教育目標>

『豊かな感性を磨き、確かな学力とたくましい心と体をもつ子どもの育成』

<めざす子ども像>

- ① やさしい子…豊かな心を持ち、自他を大切にできる子
- ② かしこい子…主体的に学び、考えて行動できる子
- ③ たくましい子…健康な心と体を持ち、粘り強く取り組む子

ふるさと島根を学びの
原点に 未来にはぼた
く 心豊かな人づくり

<学校スローガン>

「学び合い、かかわり合い、高め合う八雲小学校」

子どもの瞳が輝く学校
子どもファーストの学校

<めざす教職員像>

- ① 心身ともに健康で、温かいまなざしと豊かな感性を備えた教職員
- ② 学び続ける謙虚さと教えるプロとしての自覚をもった教職員
- ③ 個性を発揮し、創意工夫ができる前向きな教職員
- ④ 家庭や地域との協働で子どもを育てる意識をもった教職員
- ⑤ 互いに磨き合い、支え合う同僚性を大切にできる教職員

豊かな人間性
明るさと温かさ
元気・やる気・根気
互いのりしろを大切に

With コロナ・After コロナ：感染予防対策の徹底と学びの充実をめざす教育活動の工夫
フレッシュな発想と失敗を恐れないチャレンジ精神

報告・連絡・相談の徹底 教育公務員としての服務規律の遵守

危機管理のさしすせそ「最悪を想って・慎重に・素早く・誠意をもって・組織で対応」
つながり4K（感謝・感動・謙虚・絆）を大切にうるおいのある教育環境を

2 今年度の学校経営の基本方針

- (1) 人間尊重・人権尊重に徹し、一人一人の良さを認め伸ばす指導を行うことで自尊感情を育み、様々なかかわりを通して豊かな心（人間性）を育む教育に努める。
- (2) あらゆる手段を駆使して知的好奇心や学習意欲を喚起し「学びに向かう力」の向上に努めるとともに、家庭や地域と連携して学習習慣の定着を図る。
- (3) 様々な体験的活動を通して身近な「ひと・もの・こと」への関心を高め、社会に主体的に関わろうとする力を育み、たくましく生きる力を育成する。
- (4) 積極的な情報発信に努め、地域との協働的な教育活動を展開し、保護者・地域から信頼される学校づくりに努める。
- (5) 「チームやくも」として取り組む職員体制の構築をめざすとともに、働き方改革を進める。

3 今年度の取組の重点

- (1) 一人一人を大切にしたい学級経営や子どもたちが主役になる学校行事、つながりを深めるなかよし班活動を展開し、自尊感情を育む。
 - 学級活動や縦割り班活動、児童会活動等において、自他を大切にする人権感覚を養い、発達段階に応じて安心できる居場所や自己有用感、自治力などを高めるよう工夫する。
 - どの子にとっても居場所がある学校をめざし、学びの場の保障と自己存在感を高める取組を進める。
- (2) 校内授業研究をとおして「主体的で対話的な学び」のある授業づくりを創造し、基礎・基本の学力の定着を図る。
 - 聞き合う態度の育成を中心に、伝え合い、学び合う学習集団づくりをめざす。
 - めあてと振り返りを大切にしたい授業プランシート等の活用を進める。
 - 校内研修の場を活用して、子どもの学習意欲を喚起する授業改善を協働的に進める。
 - 「家庭学習の手引き」を有効活用し、家庭における学習習慣を身に付けさせる。
- (3) 学級活動や道徳教育における話し合い活動を工夫し、聞く力・話す力・考える力の育成に努める。
 - 特別活動における話し合い活動を各学級で積極的に実践する。
 - 「たんぽぽタイム」「読書カード」「情報カード」など様々な活動を通して、本に親しみ、読解力や情報処理能力や情報活用能力を伸ばす。
- (4) 積極的な生徒指導や特別支援教育の充実により、自尊感情・自己肯定感を高める。
 - 「あすこそは」の徹底 「当たり前のこと」が「当たり前」にできる力
「あ：あいさつ す：スマイル こ：言葉遣い・腰骨 そ：そうじ は：履き物揃え」
 - 教育相談、スクールカウンセラー、QU アンケートなどを総合的に活用し、個別の学びの場の保障と交流学習の充実をめざると共に、特別支援学級在籍児童に対する理解教育の継続と、通常学級における特別な支援が必要な児童への配慮と適切な指導を行う。
- (5) 体力向上推進計画に基づき、健やかでたくましい心と体を育む活動を全校で展開する。
 - 望ましい生活習慣の確立をめざし、メディアコントロールウィークを毎学期実施する。
 - 体育の授業を充実させるとともに、日常的に体力づくりや体幹を意識した運動を取り入れ姿勢保持などかしこい体づくりをめざす。
- (6) ICT担当を校務分掌に位置づけ、ICT機器やタブレットなどの効果的な活用を推進する。
 - タブレットドリルを活用した個別学習の充実と、ICT機器を活用した協働的な学びの融合を図る。
 - 発達段階に応じて家庭学習や調べ学習やまとめ学習での活用を積極的に推進する。
- (7) やくも意宇学園小中一貫教育を意識した「ふるさと教育」「キャリア教育」を展開する。
 - 地域に誇りと愛着を感じる子どもの育成をめざし、地域の特色（ひと・もの・こと）を生かした体験的な活動や直接的なかかわりが実感できる「ふるさと教育」の推進を図る。
 - 縦の一貫教育を意識した「キャリアパスポート」の有効活用を進める。
- (8) 職員の働き方改革プロジェクトチームを組織し、具体的な改革を推進する。
 - 行事や会議の内容ややり方を見直し、子どもに向き合う時間や教材研究の時間を生み出すように努める。
 - 定時退庁日を設定するとともに、退庁時刻を意識した業務の遂行に努める。